

[発行] レイカディア大学同窓会大津支部

<http://lacadia-dousoukai.com/>

目次

2 支部長任期を終えるにあたり
(岩田支部長)

3 支部・本部総会案内

4 新年会報告

5 レイ大必修講座聴講

10 小学校応援・まちなか応援活動

14 地域ミーティング



新年会 2月5日「びわこの千松」

6 各部会活動

文化部・研修部・健康部
地域活動部

16 会員動向・編集後記

主 な 行 事

- 大津支部総会 平成30年4月26日(木)
13時30分よりレイカディア大学草津校で開催
- 本部総会 平成30年5月16日(水)
13時00分よりレイカディア大学草津校で開催
- 30年度会員作品展
平成30年4月6日(金)～8日(日)
大津市生涯学習センター1Fギャラリーで開催

3

7

皆様のご参加をお待ちしています！

支部長任期を終えるにあたり

支部長 岩田 和彦 (32 期 陶芸・志賀)

2 年前に佐瀬前支部長よりバトンを受け、微力ながら邁進することができましたのは一重に役員を始め皆様方の温かいご支援のお陰でございます。

当時の課題は、行事に積極的に参加される人と、殆ど参加されない人に分れていたことにより、「会員の潜在ニーズを各部門や役員会で調査検討」し「会員確保と組織作りに注力」する、でした。それにより「温かみのある心の通え合える風土づくり」をスローガンに、「会員増」と「活動参加者増」を目標に掲げ、皆様方にお知恵とお力添えをお願いし、手立てを施してきました。

「2 年間の会員数推移」は、255 人→226 人→250 人（内新会員 25 人→22 人→28 人）、既会員の入会 2～3 年での退会傾向は、対策を講じ、歯止めがかかりました。幸いにも新会員 38 期生は市内在住者 33 名中 28 名に入会を頂きました。現在 39 期生 48 名・40 期生 50 名が在学されており、入会促進が今後の最大のテーマとなります。

「活動参加者増」は、各地域での創意工夫によるコミュニケーションが高まったことや、各部会の活発な企画立案により大きな成果となっています。「健康部会・研修部会」の部会間のコラボレーション企画。「文化部」ではマジックや書道・パソコンなどのサークル活動の活発化。「地域活動部会」での小学校応援は年々増大、大津祭・ヨシ刈・におの浜ふれあいまつり等の活動に在校生にも呼びかけ顔見知りとなり、入会の道筋に大きく繋がっています。「広報部会」は「かけはし」の編集会議時に知事と偶然にも遭遇、その様子を掲載しお届けしたところ、早速の電話を戴いたり陶芸展の祝辞を戴いたりで何かとお気に掛けて頂いています。配布先も県や行政機関の新たな関係先に発信を拡げていることや、「会員の元気活動」を取材し、新しい誌面作りにも努めてきました。「事務局」としても諸活動を円滑に推進するために「情報受発信」と「会員との情報共有」を高めるためにメール・FAX・ホームページ利用でのタイムリーな発信はもとより、役員には会員への「配布物」はできるだけ「face to face」の対話で行事参加をお願いしてきました。

これらの諸活動を今後も「無理のない範囲」で「持続可能な活動」にするために「何をしなければいけないのか？」を自問自答し、講座聴講等での研鑽・豊富な人材の発掘・外部発信で「見える化」等の取組と、骨身を削ってのボランティア活動者に対し何か報いる方法はないかと考え、「助成金・貢献賞」に数多く申請してきました(20 件申請、採用 7 件・不採用 13 件・未決 0 件)。

「今後の課題」は、何よりも「学生募集協力で母校の発展」・「入会促進策」・「なりたがらない役員の解消策と後継育成」です。そして大学・サポート隊・えにしのか・社協や行政との連携を深める事だと思います。

地域の課題として、弱者への見守りや困りごと等福祉課題で何かできないかや、80 歳を過ぎても年間 60 回以上の「マジック出前活動」で元気な方もおられます。その活動先に是非皆さん方の得意技「ヨシ笛」「コーラス」「陶芸」「折り紙」等で一緒に「レイカ大津一座」でも立ち上げる事ができないものかと思っています。

「三日月知事任期総仕上げ」として「健康しが」を前面に強く打ち出されました。我々が一番できることは「健康体で活動的である」ことの他にはありません。大津支部が益々「元気で活発な集まり」となり、それを人が見ていつか「人は勝手に集まる！集団」になることを夢見つつ、次の立派なリーダーに託せることができ嬉しく思っています。



支部・本部 総会案内

第34回大津支部定期総会

- ◆ 日時：平成30年4月26日(木) 13時30分～（受付開始：13時～）

会場：滋賀県立長寿社会福祉センター 大教室(レイカディア大学草津校1階)

- ◆ 議案：
 1. 平成29年度事業報告
 2. 平成29年度収支決算報告
 3. 会則の一部改訂(案)
 4. 役員の一部改選(案)
 5. 平成30年度事業計画(案)
 6. 平成30年度収支予算(案)



昨年の支部総会

★同窓会年会費（2,000円）は、領収書と引換えに地域の役員にお支払い下さい。

平成30年度本部定期総会

- ◆ 日時：平成30年5月16日(水) 13時～（受付開始：12時～）

- ◆ 会場：滋賀県立長寿社会福祉センター 大教室(レイカディア大学草津校1階)



昨年の本部総会

★お願い：支部定期総会及び本部定期総会への出欠について、まだ返事を頂いていない方は、配布文書にご記入の上、至急、地区の担当役員へお渡し願います。

大津支部第 13 回新年会報告

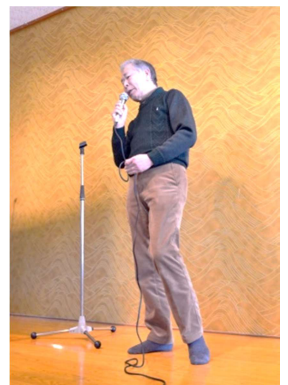
実行委員長 福井 かおる (34 期 健レク・唐崎)

2月5日大津支部の第13回新年会が「びわこの千松」で行われました。今年は64名の参加でしたが、今年初めての顔合わせで和気藹々、賑やかに盛り上がりました。

支部長の挨拶に続き、顧問の佐瀬さんの乾杯の音頭で始まり、ビンゴゲームやカラオケ大会では河嶋さんの楽しい司会に時間の経つのを忘れてしまいました。最後は来年度の担当地域の大塚幹事が小野副支部長の代理として、第14回目の新年会への決意表明。フィナーレは「琵琶湖周航の歌」を広間いっぱいに広がって、肩組み合っの大合唱で本年度の新年会を終了出来ました。

人と人の繋がりがともすれば希薄になっている今日、レिकाで繋がり「みんなで生きる」ことが出来ればいいと思います。

各地域の実行委員の皆様、事務局の方々御苦労さまでした。



必修講座「近江路を歩いた人々～旅日記に見る」聴講を終えて

1月26日（金）レイ大草津校での必修講座を在校生の方たちと一緒に聴講させて頂きました。当日は前日の雪が残り、近江八幡支部や甲賀・湖南支部の方たちは参加出来ず残念でしたが、大津支部の方が13名来て下さり、合計22名の参加でした。

講座は江竜善之氏（前近江地方史研究会会長）の「近江路を歩いた人々～旅日記に見る」というタイトルで江戸時代の旅日記、紀行文から近江の国を歩いた人々を詳しく紹介頂きました。

江戸時代は今と違って庶民にとって旅はたいへんだったこと、物見遊山ではなく西国巡礼や伊勢への信仰の旅が多かったことなど、旅日記からお話しして頂きました。琵琶湖の素晴らしさに感激した様子など読むと、なんだか嬉しく思いました。伊能忠敬は37日をかけて琵琶湖一周の複雑な地形を測量したそうです。朝鮮通信使も歩いた近江の国、歴史を感じられるお話しでした。

記）本部研修部長 福井 かおる



[部会便り]

「健康部」

～たのしく なかよく 元気よく！～

<第4回グラウンドゴルフ大会報告>

荒木 澄子 (33期 健レク・瀬田北)

今日、2月16日(金)は昨年のような雪は無し、グラウンドゴルフ大会を実施出来そうです。この日を待っていた35名、矢橋帰帆島公園に参集、「待ってたよ」と胸の内を皆の笑顔が物語っていた。受付時より笑い声が絶えない。初心者もベテランも優勝、ホールインワンを目指しプレー開始。頑張るぞ。枯れ芝生に乗ったボールは思いのほか良く滑る。おまけに矢橋帰帆島公園は、こぶとバンカーが行く手にたちはだかり、植込みにボールが潜り込みベテランも苦戦している。

さあここからは結果発表。こうなればせめてBB賞に当てはまりたい。誰もが息をのむ間もなく発表された。何と3回続けてBB賞を手にした強者がいたのだ。当日賞は実施日の16位ではなく雪で実施が見送られた1月26日の26位に賞が渡された。瞬間どっと笑いが起きた。どうやら皆の評価では、これらの受賞者は悪運が強い人のようです。

今日はこれでお終い。レイカ大津同窓会健康部では、会員の皆さまに楽しんでもらえる企画を、ご案内いたしますので、ご参加お願いいたします。



<第3回ディスコン大会報告>

上野 正男 (34期 地文・瀬田一里山)

2月20日(火)午後1時30分より瀬田公民館3階大ホールにおいてディスコン大会を開催。瀬田地区シニアクラブ(会長:初田茂さん)共催で実施した。今年の平昌五輪のカーリング日本チームの活躍を思いながらカーリングのルールを併用して実施、交互に投球し5点先取方式とした。

この時期にしては比較的暖かい日で上着を脱いでゲームを楽しむことが出来、皆さん和気あいあいとゲームをしました。参加者 レイカ大津:15名、瀬田シニアクラブ:21名(3名共通)。レイカ大津:3チーム、瀬田シニア:3チームの対抗総当たり戦で行いました。

結果は瀬田シニアAが優勝、瀬田シニアBとレイカCが同点の2位決定戦で瀬田シニアBが2位。最後にレイカ大津のニアピン大会で難波洋平さん(瀬田)が優勝されました。



「文化部」

～趣味をふかめて たのしく学ぼう！～

レイカ大津作品展開催のご案内

文化部の主催行事である作品展は、例年4月上旬の3日間に開催しています。この作品展にはサークル参加及び個人参加を頂いております。昨年は37名の方から78点の力作を出展頂きました。中には91歳の方もおられました。

今年のご案内の通り4月6日（金）から8日（日）に開催致します。作品展会場（大津市生涯学習センター）前の膳所城跡公園は桜の名所です。花見を兼ねて作品展をご覧頂ければ幸甚でございます。

- ★開催日 平成30年4月6日（金）～8日（日）
- ★時 間 6日：12時～17時、7日：9時～17時、8日：9時～15時
- ★会 場 大津市生涯学習センター 1F ギャラリー
大津市本丸町6-50 膳所公園向い、京阪膳所本町駅下車徒歩5分
☆駐車スペースが少ないので、出来るだけ公共交通をご利用ください



写真は今年の模様

市民陶芸体験講座開催

去る3月23日（金）大津市生涯学習センターで市民陶芸体験講座を開催しました。今回は滋賀県教職員互助会の助成もあり例年5月開催を前倒しで3月に開催しました。それにもかかわらず2月1日申込開始で2月5日には定員（24人）に達しました。いかに市民の皆様が関心を持っておられるか想像できます。

今回参加出来なかった人も次回奮って応募して下さい（10月開催予定）。講師の皆さん方には、お忙しいところ御協力頂きまして有難う御座いました。誌面をお借りして御礼申し上げます。



写真は過去の体験講座の模様

琵琶湖博物館の講演と見学の集い

大口 正勝（36 期 地文・堅田）

穏やかな日となった1月18日（木）鳥丸半島の琵琶湖博物館に43名の会員が参加して、研修部主催の「琵琶湖博物館の講演と見学の集い」が行われた。主催者側が予め団体利用申請と観覧料減免申請をしていたため、参加者は一部の方を除いて受付を通さず、同館のセミナールームに集合した。

10時半から永尾研修部長の開会挨拶に続き、琵琶湖博物館の学芸技師・田畑諒一博士による「琵琶湖に固有な魚たちの歴史と現状」と題する講演をして頂いた。

田畑博士は約1時間の講演の中で、「古代湖である琵琶湖には16種の固有種の魚たちがいる。現在の琵琶湖は約40万年前から今の位置にあるが、固有種の魚の遺伝子を解析すると、固有種への分岐は40万年以降ではなく、約300万年前の古い琵琶湖で生じていた。それが現在の琵琶湖の環境に順応して数を増やした」との自説を説明された。

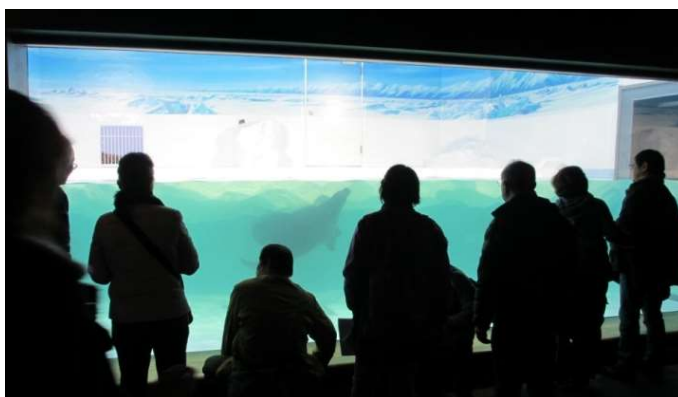
講演終了をもって自由解散としたが、殆どの参加者はセミナールームで弁当による昼食をとった後、幹事を務めた比叡地域の研修部員の先導によって、水族展示室を皮切りに、館内の見学を行った。

水族展示室は生憎、改修作業が始まっており、目玉の一つ“トンネル水槽”は見られなかったが、琵琶湖固有種のビワコオオナマズや、オオサンショウウオ、古代湖バイカル湖に固有のバイカルアザラシなどに歓声が上がった。

皆さんと、楽しく学んだ一日であった。



永尾部長の開会挨拶



バイカルアザラシ水槽前の参加者たち（左）とアザラシへの餌やり（右）



「地域活動部」

～無理しない！ 出来る時に、出来ることを、出来る範囲で！～

《活動報告/予定》

◎ヨシ刈シーズン各地区で多くの参加をいただき有難うございました

*12月3日(日)	比叡地域	堅田・米プラザ前	11名
*12月16日(土)	石山地域	石山蛸谷公園前	20名
*1月28日(日)	大津全域	雄琴アクティバ琵琶前	30名
*2月3日(土)	比叡地域	比叡辻～唐崎神社	9名 計70名(内在校生29名)

今年度の12月16日、石山蛸谷のヨシ刈時の琵琶湖の水位は-4cmで昨年度の水位-24cmより20cm高かったため、ヨシ刈面積の約1/3位残った感じでした。ヨシ刈の作業は、湿地帯で、腰をかがめての手作業のため作業性は非常に悪い環境での作業です。しかも一般市民の児童からシニア世代までの幅広いボランティア活動を考慮すると、行政間で可能な時期と可能な範囲で水位を下げて頂いて、その期間に「びわこヨシ刈」週間の日を設定して頂くならば、大きな市民運動につながり、「琵琶湖自然環境の保全活動」の推進につながると思います。

◎第3回におの浜ふれあいまつり 2月25日(日)に参加

大津市におの浜スポーツセンター 10:00～15:00 実施 11名参加

～みんなで遊ぼう～ ゲームを取り入れて楽しむことができるスポーツで、私たちお手伝いさんも競技者と一緒になって楽しむことができました。また休憩時間に屋台コーナーで法兰克福ト、ホットケーキ、豚汁等を頂き(昼食兼用)来場者と若いスタッフの方たちと共に楽しむことができたひと時でした。

◎「ボランティア活動発表会」3月10日(土) 山口、奥田、藤田3名が参加

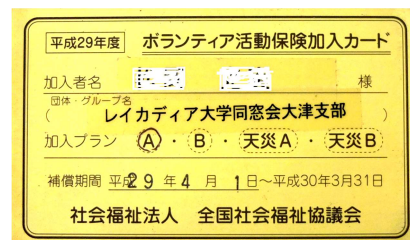
大津市社協に登録されているボランティアグループが一同に会して、活動成果の展示、演奏、演芸及び活動発表を行いながら各グループとの交流を行う行事です。

レイカ大津は活動を紹介するポスターの掲示と、大津支部会報「かけはし」及びレイ大学生募集ポスター、チラシ等を展示しながら、来られた方に楽しく説明をさせていただきました。

◎ボランティア保険 平成30年への更新手続きを行いました(3月10日社協に提出)

【予定数】平成29年度保険加入者	119名
平成29年度途中加入者	21名
合 計	140名(内市民5名)

30年度「ボランティア活動保険加入カード」は4月以降にお渡しいたします。今回の「保険料交付申請書」を提出することで30年度のボランティア活動保険の保険料を助成して頂きますが、平成31年度からはボランティア保険料が私達の自己負担になります。



◎大津まちなかスッキリ士隊連絡会議 3月22日(木) 山口、藤田2名が参加

大津市未来まちづくり部まちづくり計画課主催の会議で、①今年度を振り返って、②来年度の活動へ向けて、の会議でした。

市民ヨシ刈に参加して

奥田 耕治（33期 園芸・志賀）

1月28日（日）に大津市雄琴のアクティバ琵琶の湖畔でのヨシ刈に参加してきました。

同窓会の地域活動の一環として参加する湖畔でのヨシ刈は琵琶湖大橋米プラザや石山蛸谷、今回の雄琴に続いて下阪本の4カ所です。大津市が直接関与するヨシ刈会場は雄琴ですが、他の会場では主体がその地域の自治連合会になります。参加者はその地域の住民が中心ですが、その地域に立地する企業や学校関係者、各種団体の方々が多く参加しています。それぞれの地域性もあって石山蛸谷では瀬田川河畔に数多くある大学の漕艇部の学生が参加していましたので、他の湖西の会場とは少し趣が異なり若さがみなぎっていました。勿論、今回の雄琴のヨシ刈でも地元の小中学生やスポーツ少年団が多数参加していて、わが同窓会員を含めて数百人規模の参加者でした。

同窓会からは30名の参加者があり、何よりうれしく思いましたのは在校生の参加が15名ありました。これらの方々は卒業と同時に同窓会会員になっていただけるものと心強く感じました。

開会式で市役所の関連部署の責任者と地元自治会の会長より挨拶と注意事項の伝達ののち、私たちは全員で記念写真を撮り作業開始しました。ヨシ刈作業そのものは1時間強で終わりましたが、前々日来の降雪で会場には薄化粧程度の残雪があり、例年に比べて足場のぬかるみは予想を超えて大変難渋しました。中にはぬかるみに足を取られて倒れそうになる方もおられたようです。例年のことですが少し早めに会場に到着して、開会式場の真ん中に同窓会の幟を2本立てて参加者の目印としました。お陰さまで会員は勿論のこと在校生の方たちも迷うことなく参集され、出欠の確認はスムーズに行うことができました。無事に作業を終えて地元の婦人会の皆さんのおもてなしのトン汁で冷えた体を温めることが出き、また、その間短い時間でしたが会員と在校生の交流も出来ました。

また、地域活動部山口部長がヨシ刈の意義や同窓会の参加履歴などの資料を在校生の方に配布しました。在校生にとってはボランティア活動に参加したという証になると同時に、報告書の作成に大いに役立ったのではないかと思います。作業中、岩田支部長が毎日新聞社の記者からインタビューを受けて、後日記事が載りました。楽しく無事に作業を終えることが出来てなによりでした。それぞれが飲み物とちょっとしたお土産をいただいて帰路につきました。



会場での説明



集合写真

初めてのヨシ刈を体験

小林 茂 (37 期 園芸・石山南郷)

12 月 16 日 (土) 石山蚩谷のヨシ刈イベントに参加しました。レイ大卒業後ヨシ刈ボランティアの募集案内を何度か目にし、一度参加しようと思っていましたが、今回ようやく実現できました。ここ石山蚩谷では、毎年この時期に瀬田川畔の環境保全を目的に実施されているとのこと。

参加者は蚩谷自治会の方をはじめ、近隣大学のボート部メンバー、更にレイカディア大学の関係では同窓会大津支部の有志、また現役在校生の地域体験学習のメンバーと、例年になく多くの参加があった様で作業は 45 分ほどで終わってしまいました。

また、あいにくこの日は水位が例年より 20cm ほど高かったらしく、沖の方のヨシは刈ることは出来ませんでしたが、刈り取ったヨシはその場で焼却処理されていました。

初冬の風物詩として毎年実施されるこのヨシ刈。来年も是非ここ蚩谷のヨシ刈に参加し、環境改善の一助になればと感じた一日でした。



平成 29 年度 小学校応援活動集計表（平成 29 年 4 月～平成 30 年 2 月）

地 域	応援項目	活 動 学 校 名	回 数	参加者数	内在校生	内協力者
比 叡	校庭剪定	小松小学校	2	9		1
		木戸小学校	2	11		
		小野小学校	1	9		
		真野小学校	1	7		
		真野北小学校	1	7		
		堅田小学校	1	8		1
		仰木の里小学校	2	21	1	9
		仰木の里東小学校	2	17	1	1
		雄琴小学校	2	16		
		日吉台小学校	2	21	1	
		坂本小学校	2	23	2	
	図書整理	小松小学校	2	9		
		木戸小学校	1	6		
		伊香立小学校	1	4		
		真野北小学校	1	6		
		堅田小学校	2	13		
	校庭花づくり	真野北小学校	7	7		
	菜園づくり	真野北児童クラブ	1	1		
	パソコン授業応援	真野北小学校	2	2		
	小 計		35	197	5	12
中 央	図書管理	逢坂小学校	6	26		
		平野小学校	13	74	2	
	昔遊び授業応援	平野小学校	2	21		1
	小 計		21	121	2	1
石 山	校庭剪定	青山小学校	2	23		2
		石山小学校	2	17		
		大石小学校	1	8		
		南郷小学校	2	16		
		南郷幼稚園	1	8		
	小 計		8	72	0	2
瀬 田	校庭剪定	瀬田北小学校	3	36		1
		瀬田東小学校	3	35		3
		瀬田小学校	3	40		3
		瀬田北幼稚園	1	18		8
		瀬田幼稚園	1	11		1
	校庭花づくり	瀬田東小学校	12	75	9	14
	縫製授業応援	瀬田東小学校	55	58		13
	図書管理	瀬田南小学校	60	96	9	19
	行事応援	瀬田小学校	1	13		
		瀬田北小学校	2	12		
	小 計		141	394	18	62
	合 計		205	784	25	77

平成 29 年度 まちなか応援活動集計表（平成 29 年 4 月～平成 30 年 2 月）

応 援 項 目	場 所 ・ 内 容	回 数	参加者数	内 在 校 生	内 協 力 者
ヨシ刈	米プラザ	1	11	3	
	石山・蛍谷	1	20	7	
	雄琴市民	1	30	15	
	下阪本	1	9	4	
スッキリ士隊	瀬田地域	2	31		
大 津 祭	山建て後の初曳	1	15	2	1
	宵宮曳	1	14	4	
	宵宮のお手伝い	1	9		
	本祭巡行	1	16	6	2
	本祭お手伝い	1	21	9	
囲 碁 対 局	コンソルテ瀬田	8	27		4
	カーサ月輪	2	3		
	長等ほたるの家	6	6		
将 棋 対 局	大津老人ホーム	4	4		
におの浜ふれあいまつり	におの浜スポーツセンタ	1	11		
瀬田川リバブレ隊	瀬田川左岸バイパス下	10	15		
合 計		42	242	50	7

「におの浜ふれあいまつり」に参加して

福井 かおる（34 期 健レク・唐崎）

2 月 25 日(日)におの浜スポーツセンターで「第 3 回におの浜ふれあいまつり」が開催され、大津支部から延べ 11 名(午前 5 人、午後 6 人)がお手伝いに参加してきました。第 1 回のふれあいまつりからゲームコーナーを担当、人気は射的とスーパーボールすくいで、特に幼児にはスーパーボールすくいが好評でした。親子連れが多く、朝からずっと帰らない子もいて、親子で楽しそうでした。

他に、ペットボトル・ボウリング、ミニバスケット・フリースローやヨシ笛演奏、バトミントンなどがありました。我々にとっても若いスタッフや元気な幼児・学童と一緒に楽しい 1 日を過ごせました。地域のお祭りとして、もっと多くの人に広まり、続いていくといいと思いました。



地域ミーティング

29 年度第 3 回比叡地域ミーティング開催

12 月 12 日に真冬並みの気温と寒風吹きすさぶ中でしたが、第 3 回の比叡地域ミーティングを東洋紡株式会社堅田総合研究所にて開催しました。地元でありながら滅多に訪れることができない研究所に同社 OB の堅田地区幹事の大口さんにお骨折り頂いて実現の運びとなりました。総勢 30 名の参加で当地域では、これほど多数の方の参加を仰ぐことができたことは過去にはないと思われまゝ。それほど参加された方々の関心が高かったのだと、企画した者としては冥利に尽きる思いです。

総合研究所では高瀬所長や小林研究企画室部長、太田総務部長など研究所幹部を始めとして、多くの方の出迎えを受けて歓待いただきました。全員揃ったところで高瀬所長自ら、約 1 時間にわたり東洋紡の歴史や現在の最先端の技術や製品、また研究所として地域貢献や環境に取り組んでおられる内容のご紹介をいただき、私たちも熱心に聴講いたしました。続いて研究所内のいくつかの施設を 2 班に分かれての見学となりました。何分広い敷地ですから移動だけでも時間もかかりますが、研究所の中で最も高い場所に案内していただき研究所の全貌と琵琶湖の眺望を楽しませてもらいました。冒頭で記していますように、大変寒い時ではありましたが青空に映える湖西から見た琵琶湖と鈴鹿の山々の遠望は感動ものでした。私の班では最後に展示室に案内いただき、本来の紡績技術から発展したフィルム・機能性樹脂、産業マテリアル、ヘルスケアなどに至る幅広い技術の結晶の製品群を見ることができました。日常生活で直接目に触れることは少ないかもしれないけれども、私たちの生活になくてはならないものがたくさんあり、これを機会に東洋紡さんの技術や製品に対してさらに関心を寄せたいと考えているところです。

次に同社のゲストハウスである「求是荘」に移動して、会食と懇談をさせていただきました。名前の由来は京都大学の吉川幸次郎博士の命名で「修学好古 事実求是」、事実に基づいて事物の真相、真理を求めてたずねることだそうです。私のような浅学非才の者にとっては何のことやらではありますが。また、お会いしたことはありませんが湯川秀樹博士など多くの著名な学者さんが滞在されたという由緒ある建物で、ご用意いただいた弁当は上品で大変美味しかったことと、湖畔に位置する庭の景色の素晴らしい事は脳裏に焼き付いています。会食の途中から頃合いを見計らって用意した比叡地域の議題である①現役員の紹介 ②個人で行っている活動の披露 ③次年度役員の就任のお願いなどをさせていただきました。活発なご意見や要望も伺い大変有意義な時間を過ごすことができました。

記) 副支部長 奥田 耕治



京都大学時計台記念館レストラン「ラトゥール」でランチしました

安達 和子（35 期 健康づ・平野）

平成 29 年 11 月 13 日（月）中央地域の本年度第 2 回目の地域ミーティング（親睦ハイキング）に参加しました。JR 山科駅に集合（参加者は 11 人）地下鉄東西線で「東山」に移動。真如堂から吉田山神社を下り京大に。小野副支部長のお勧めコースと聞いた通りのいいコースでした。朝は少々冷んやりでしたが良い天気恵まれ、気持ちのいいウォークができました。記念館は大正 14 年の建物でホテルの様な雰囲気でゆっくりとランチをした後、三々五々帰路に。私は二条通りを西に歩き、烏丸通りを京都駅に向かって歩いて、今日も良き日でしたと感謝。歩数計は 17 キロメートル。2 万 3 千歩。消費カロリー 572 キロカロリー。本日はまずまずでした。歩きながらお話ができて、貯筋もちょっとできてうれしい。計画して下さってありがとうございました。



レイカディア大学 41 期学生募集ご協力をお願い

サポート隊総務局次長・学生募集 PJ リーダー 藤田 順一（37 期 園芸・志賀）

サポート隊は昨年の 11 月から 41 期の学生募集担当者会議を開始しております。3 月の役員会に配布を可能にする為に、昨年より全てを前倒しの厳しい日程の中、ポスター・チラシの発送を間に合わせる事が出来ました。

40 期学生募集結果は、39 期と比較すると園芸学科に大きな特徴がありました。大津市在住者の園芸学科の応募が減少し、大津市

全体を下げる結果になった。41 期学生募集は園芸学科に多くの応募を期待します。

40 期学生に事務局が行った、学生募集を何で知ったかの調査（複数回答可）

- 1、レイ大卒業生・在校生からの情報・・・69 名 33.8%
- 2、友人からの情報・・・・・・・・・・41 名 20.1%
- 3、募集のチラシ・パンフレット・・・・・・・・38 名 18.6%

卒業生・在校生・友人による、チラシ・パンフレットを用いた対面活動に多くを期待できる結果になっております。クラブ活動のお知り合いに紹介、自治会の回覧や個別配布、作品展・発表会等で学生募集活動にご協力をお願いします。母校の発展・同窓会大津支部の発展と継承に、大津市から一人でも多くの入学者を増やしましょう。

会員数 大津支部会員数（3月15日現在）250名

会計・事務局からのお知らせ

4月度から新年度の活動に向けて各地域・地区の役員が会費の集金に伺います。会員の皆様は宜しくご協力ください。なお、大津支部の総会当日4月26日でも会費の受付は致します。

4月26日（木）	支部総会	レイカディア大学	13時30分～
5月23日（水）	新年度第1回役員会	生涯学習センター	9時30分～
6月6日（水）	第2回執行役員会	生涯学習センター	9時30分～
6月27日（水）	第2回役員会	生涯学習センター	9時30分～

広報部からのお知らせ

会報誌「かけはし」は年4回発行しており、今回は6月下旬に発行の予定です。

次号は会員投稿を掲載します。原稿締め切りは5月29日厳守です。テーマは自由でボランティア活動、随想、紀行文、趣味のサークル活動などのほか、短歌、俳句、川柳作品などの投稿をお願いします。投稿の要領はパソコンで作成される場合は、用紙はA4、本文の字体や大きさは、MS明朝体・12ポイント、表題の文字の大きさは14～16ポイントと指定しています。

原稿の文字数は1,200文字以内を厳守下さい。表題の下部に氏名（期生、学科・地区名）を記入下さい。又写真などがあれば是非添付して下さい。写真の返却を希望される方は、その旨を写真裏面にご記入下さい。

《原稿送付先》自筆・ワープロ打ち原稿は郵送またはFAXで

〒520-0052 大津市朝日が丘1丁目15番15号

大塚 庸行 宛 TEL・FAX:077-525-7338

PCメールは佐瀬 章男 宛 sase@opal.plala.or.jp

松岡 克実 宛 katumatu66@yahoo.co.jp

〔編集後記〕

春の暖かい陽射しがみられる今日この頃です。何といたっても平昌冬季オリンピックでの日本選手の活躍が今冬の寒さを吹き飛ばしてくれました。メダル獲得数は長野オリンピックを上回る13個を記録し、日本中に感動と元気を与えてくれました。また3月9日からパラリンピックが開催され、10個のメダルを獲得しました。残念ながらメダル獲得を逃した選手も、それぞれ自己最高のパフォーマンスを発揮されました。次回に向けて挑戦して欲しいと思います。「びわこ開き」も終わり本格的な春到来となり、レイカ大津の新年度がスタートいたします。

編集委員

岩田和彦(志賀) 西澤勝(唐崎) 福井かおる(唐崎) 和田紀久子(日吉) 大塚庸行(打出)
住若富子(打出) 釜淵佳明(膳所) 松岡克実(北大路) 脇田進(石山南郷) 河嶋文雄(石山南郷)
佐瀬章男(瀬田北) 中村健一郎(瀬田月輪) 栗田昇(瀬田月輪)

レイカディア大学同窓会大津支部会報60号(平成30年3月27日発行)

発行責任者 大津支部長 岩田和彦

編集責任者 広報部会長 大塚庸行

*投稿・応募・申込み等の個人情報について

レイカディア大学同窓会大津支部宛の投稿・応募・申込み等(電子媒体含む。以下原稿と言う)で得た個人情報は事前説明無く、当該投稿等に関する用途以外に使用せず、適宜、適切に破棄します。投稿内容及び氏名、年齢、生年、地域・地区、卒期・学科名は当会発行媒体に掲載することがあります。